

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	スポーツ医学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	川村 智広	実務経験とその関連資格	平成19年柔道整復師免許取得 平成22年鍼灸師免許取得 平成24年日本相撲協会陸奥部屋トレーナー就任 日本陸上競技連盟A級トレーナー 平成25年柔道整復師専科教員免許取得 平成29年JSPO公認アスレティックトレーナー			
《授業科目における学習内容》						
スポーツ現場で見られる内科的疾患について知り、理解を深める。この授業で学ぶ知識が、疾病の予防や評価、救急処置などに活用できることが期待される。アスリートによく見られる代表的な内科的疾患のみならず突然死など重篤な疾患もよく理解し、現場での効果的な対応に繋げる。メディカルチェックなど、医師との協力のもと行う業務も、現場で活用できるよう理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 授業内課題 20% 2. 期末テスト 50% 3. 出席・平常点 30%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」						
《授業外における学習方法》						
できる限り現場で活用できる形で理解し、メディカルチェックからの疾病予防や発生時の適切な対応につなげるよう、シミュレーションやメディカルチェックのデザイン、選手への啓発方法を考案する。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖生理学や病理学など基礎医学の知識を抜きにしては理解を深めることができない。よく復習して臨むこと。また、この授業で学ぶ知識が、現場での業務に直結することを念頭に学習すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染の基礎知識および呼吸器感染症、血液感染症の種類、予防法や対処法などについて理解を深める。	教科書	当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	イントロダクション 感染症に対する対応策(呼吸器感染症、血液感染症)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	皮膚感染症などの種類、予防法や対処法などについて理解を深める。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	感染症に対する対応策 皮膚感染症、ウイルス性結膜炎			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国外で注意すべき感染症の種類、予防法などについて理解を深める。また、各種競技における血液感染予防に関するルールを理解する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	感染症に対する対応策 海外遠征に注意すべき感染症、各競技別ルールにみられる感染症対策			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツにおける心臓の適応、病的肥大、また糖尿病をはじめとする代謝性疾患について理解を深める。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	アスリートにみられる内臓器官などの疾患 循環器系疾患、代謝性疾患			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動時腹部症状をはじめとする消化器疾患、喘息などの呼吸器疾患について理解を深め、予防法や対処法を考察する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	アスリートにみられる内臓器官などの疾患 消化器系疾患、呼吸器疾患			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツにおける貧血について理解を深め、予防法や対処法を考察する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	アスリートにみられる内臓器官などの疾患 血液疾患		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	血尿など腎疾患を中心とした泌尿器系疾患、感染症以外の皮膚疾患について理解を深め、対処法を考察する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	アスリートにみられる内臓器官などの疾患 腎・泌尿器疾患、皮膚疾患		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	命に関わる問題も含め、スポーツが原因で起こりえる様々な疾患について理解を深め、予防策や対応策を考察する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	アスリートにみられる病的現象など オーバートレーニング症候群、突然死、過換気症候群		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツが原因で起こりえる様々な疾患について理解を深め、予防策や対応策を考察する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	アスリートにみられる病的現象など 摂食障害、減量による障害、喫煙・飲酒の問題点		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	熱中症や高山病、また時差など海外遠征時に発生する諸問題について理解を深め、対応策を考察する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	特殊環境のスポーツ医学 高所および低酸素環境下での身体への影響、高圧環境、暑熱環境、低温環境 時差、海外遠征時の諸問題		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な対象特有の留意事項について理解を深め、トレーナーとしての関わり方を考察する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	年齢・性別による特徴 女性のスポーツ医学、成長期のスポーツ医学、高齢者のスポーツ医学		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動負荷試験を中心とした内科的メディカルチェックの意義、内容、方法について理解を深める。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	内科的メディカルチェック		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	ドーピングコントロールの目的、内容、禁止物質などについて理解を深め、教育を含めた予防法を考案する。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	ドーピングコントロール		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	アスリートにおける内科的疾患について復習を行う。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	アスリートにおける内科的疾患について復習を行う。	教科書	前回範囲の復習および当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	まとめ		